

北海道知事
高橋 はるみ様

子ども医療費無料化を求める北海道ネットワーク
(連絡先) 新日本婦人の会北海道本部
札幌市東区北24条東1丁目4-5
(TEL) 011-721-2008

北海道の子ども医療費無料化拡充を求める要請書

【要請趣旨】

子育ての大きな不安の一つに、子どもの病気があります。子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いため重症化することも多々あります。子どもの病気の早期発見・早期治療、治療の継続を支えるために、医療費の心配をなくすことは、大きな子育て支援になります。

子どもの貧困率調査で北海道は、全国平均を上回る5人に1人が貧困状態であることがわかり、緊急の課題となっています。子育て世代から「小学生の子が病気になっても、お金がかかると思っていたためらう状況は、親として悲しい」「兄弟の上の子ほど病院に行けず、下の子がもらった風邪薬を上の子に飲ませている」など、格差と貧困が広がるもと、切実な声があがっています。4月に北海道が発表した「子どもの貧困に関する全道実態調査」では、経済的理由で受診を断念させた世帯が17.8%、非課税世帯では32.6%と高いことがわかりました。

道内の多くの自治体では、少子化対策や子育て支援の充実のため、北海道の基準を上回る医療費助成を拡充させてきています。しかし、財政困難などを理由に地域間格差が広がっているのが現状です。道の無料化助成を拡充させることが、制度の充実と格差解消の大きな手だてになります。

また、お金の心配をすることなく安心して病院にかかれる「現物給付」(窓口無料)は、無料化制度の基本ですが、北海道は原則「償還払い」(一旦窓口で支払った後、払い戻しを受ける)給付となっています。「償還払い」のみは、8道県となっており、北海道として「現物給付」を実施し、自治体を援助することも重要と考えます。

子どもは、どこに住んでいても、等しく大切に育てられなくてはなりません。北海道の子どもたちのために、下記の事項を要請します。

【要請事項】

一、 中学校卒業までの通院、入院の子ども医療費を、無料(現物給付)にしてください。

氏 名	住 所

取扱い団体 ()